



二種類のイスラエル人

- ①血統的・アブラハムの子孫
- ②イスラエルの残りの民=本物の信者

二種類の異邦人

- ①神を知らず、遠く乖離
- ②御名をもって呼ばれる民  
使徒15・14

ローマ 11・11~24

イスラエル人は栽培種のオリーブ  
異邦人は栽培種のオリーブに接ぎ木された野生のオリーブ  
ともに救い主イエスを信じる信仰によって一つとなった

エペソ 3・6

福音により、イエス・キリストにあつて共同の相続者となり、ともに一つのからだに連なり、ともに約束にあずかる者となった

- ③キリストのからだ (頭はキリスト、聖徒たちはそのからだの器官・細胞)  
エペソ 1・23、 コリントI 12章

- ④キリストを礎石とする神の宮 (神殿)・建物  
エペソ 2・20~22 コリントI 3・9、16~17

⑤天上の教会  
見えない教会  
聖なる公同の教会  
勝利の教会  
真の信者のみ  
完全・永遠

地上の教会  
見える教会  
地域の教会  
戦闘の教会  
不信者も混じっている  
不完全・一時的

II. どのようにして教会の一員となるのか

コリントI 12・13

私たちはみな、ユダヤ人も異邦人も、奴隷も自由人も、一つのからだとなるように、一つの御霊によってバプテスマを受け、そしてすべての者が一つの御霊を飲む者とされた

- ①教会の一員となるには、聖霊のバプテスマを受けること
- ②イエス・キリストを信じ救われた瞬間から、聖霊は信者の内に住む

教会と聖霊のバプテスマの関係は不可分  
" は " なしには存在しない

福音を聞いて、罪を悔い改め、救い主イエスを信じる  
信じた者は聖霊のバプテスマにあずかる (聖霊の内住)

III. 結び

- (1)携挙は患難期の前のどこかの時点で起こる (キリストは空中再臨)
- (2)携挙されるのは教会 (新約の聖徒たち・天の教会に属しているユダヤ人信者+異邦人信者、ペンテコステ~携挙)
- (3)彼らはイエス・キリストをメシアと信じ、聖霊のバプテスマ (内住) にあずかっている